平成２４年度３月補正予算（追加分）の概要

平成２５年３月萩市議会定例会

平成２５年３月

萩市総務部財政課

■　今回補正する会計及び各会計ごとの補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（26 事業　うち新規 8 事業)、公共下水道事業特別会計（1 事業)、農業集落排水事業特別会計（1 事業）及び漁業集落排水事業特別会計（1 事業）の4会計で、全 29 事業（うち新規 8 事業）です。

補正予算を計上する会計	補正号数（回数）	補正予算額
一般会計	第 7 号	21 億 1,958 万 4 千円
公共下水道事業特別会計	第 3 号	1 億 2,370 万円
農業集落排水事業特別会計	第 2 号	840 万円
漁業集落排水事業特別会計	第 2 号	1 億 7,416 万 9 千円
合　　計		**24 億 2,585 万 3 千円**

※今回の補正は、4 会計で全 29 事業（うち新規 8 事業）

■　一般会計

1．補正予算の概要

昨年末の政権交代を経て、新政権は、長引く円高・デフレ不況からの早期脱却、雇用や所得の拡大等経済再生を目指し、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」、「暮らしの安心・地域活性化」の3分野を重点として、当面の経済を強力に押し上げ、将来の成長につながる施策を総動員しようとする「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（平成 25 年 1 月 11 日閣議決定）を実施するため、国の補正予算（第 1 号）を提出し、平成 25 年 2 月 26 日に成立をみたところです。

今回の補正は、この国の緊急経済対策に呼応し、国の財源を最大限活用し事業を実施するもので、なおかつ地域経済への効果が一日も早く発揮されるよう、平成 25 年度当初予算と合わせ、切れ目のない経済対策を実行するためのものです。国の補正予算の規模は過去2番目といわれ、これを活用できるよう萩市は最大限の事業要望を行っているため、一般会計においては、新市施行後最大の補正予算規模となります。

なお、これらの事業の中には、平成 24 年度中の予算化が求められているものがあり、その結果、この補正予算の編成時には補助採択が確定していない事業も含まれることから、これらの事業については、補助採択の状況により今後の補正予算で調整します。

２．補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
337 億 3,773 万１千円	21 億 1,958 万４千円	358 億 5,731 万５千円

※今回の補正は、全 26 事業（うち新規８事業）

３．実質 14 か月予算で新市施行後２番目の大規模予算

（当初予算対比）

平成 25 年度の一般会計当初予算額については、対前年度 0.8%減の 317 億 8,300 万円となりましたが、民主党政権時の予備費活用に伴う経済対策予算を含む３月補正予算（第６号）と政権交代後の自民党政権の経済対策に伴う今回の３月追加補正（第７号）、そして平成 25 年度当初予算額を合わせた実質 14 か月予算額は 326 億 2,613 万７千円となり、対前年度当初予算額と比較すると、５億 9,713 万７千円の増加（対前年度 1.9%増）となります。

この実質 14 か月予算はこれまでの当初予算額と比較すると、新市発足時の平成 17 年度に次ぐ２番目の大規模予算となります。

一　般　会　計	予　算　額	備　考
平成 24 年度３月補正（第６号）	5,747 万７千円	民主党政権による 経済対策を含む予算
今回の追加補正（第７号）	**21 億 1,958 万４千円**	自民党政権による 経済対策予算
平成 25 年度当初	317 億 8,300 万円	対前年度 0.8%減 （骨格予算）
平成 25 年度補正（第１号）	▲13 億 3,392 万４千円	今回の補正と当初予算 との重複分を減額
平成 25 年度実質 14 か月予算（A）	**326 億 2,613 万７千円**	対前年度 1.9%増

平成 24 年度当初（B）	320 億 2,900 万円

対前年度比（A）－（B）	**５億 9,713 万７千円**

４．地域の元気臨時交付金の創設

・概要

緊急経済対策で追加される公共投資の地方負担が大規模であり、予算編成の遅延という異例の状況の中で、地方の資金調達に配慮し経済対策の迅速かつ円滑な実施を図るため、今回限りの特別の措置として、平成 24 年度補正予算において地域の元気臨時交付金（地域経済活性化・雇用創出臨時交付金）が創設されました。

国の補正予算計上額　１兆 3,980 億円

※緊急経済対策における公共事業等の追加に伴う地方負担総額の８割相当額

・交付限度額

各地方公共団体の追加公共事業等の地方負担額等をベースとして算定

※財政力の弱い団体等に配慮し、財政力指数等による調整があります。

・今回の補正予算で計上している地域の元気臨時交付金額

萩市が要望した事業に対する地域の元気臨時交付金額は現在のところ未確定です。従って、今回の補正予算では確実な交付金額のみを計上しています。

12 事業　４億 2,025 万６千円

※今後確定する交付金は、今後の補正予算の財源として活用します。

５．平成 25 年度当初予算で調整が必要な事業

今回の補正予算計上と同時に、平成 25 年度当初予算に計上している下記の重複事業分を平成 25 年度補正予算（第１号）で減額します。

≪一般会計≫（特別会計への繰出金事業を除く）

・中山間地域総合整備事業負担金事業の一部　37 万５千円
（本概要Ｐ6、当初概要未掲載）

・農業体質強化基盤整備促進事業の一部　97 万５千円（本概要Ｐ6、当初概要Ｐ55）

・漁港建設工事負担金事業の一部　3,860 万円（本概要Ｐ11、当初概要未掲載）

・除雪車両整備事業　678 万５千円（本概要Ｐ12、当初概要未掲載）

・市営住宅改修事業の一部　300 万円（本概要Ｐ15、当初概要未掲載）

・明倫小学校整備事業の一部　11 億 8,280 万５千円
（本概要Ｐ17、当初概要Ｐ90）

・見島小中学校校舎整備事業の一部　4,092 万円（本概要Ｐ18、当初概要Ｐ91）

・学校給食設備整備事業　5,630 万円（本概要Ｐ18、当初概要未掲載）

≪特別会計≫

・公共下水道事業の一部　2,200 万円（本概要Ｐ19、当初概要Ｐ86）

・大井浦地区漁業集落排水事業の一部　１億 7,416 万９千円
（本概要Ｐ21、当初概要Ｐ87）

６．歳出予算の主な事業内容

■【新規】過疎集落等自立再生緊急対策事業（4,996 万２千円）

【予算説明書 10 ページ　地域調整費】
（担当課：地域政策調整課）

萩市の中山間地域においては、特に過疎化や高齢化が著しく、高齢者等の生活支援、集落の維持など大きな課題を抱えています。地域を維持・活性化するために、地区住民が主体となり、総合的に取り組む活動を支援します。

事業実施地域：〇田万川・須佐地域
〇むつみ地域
〇旭地域

＜財源内訳＞
〇 国の補助　4,996 万２千円

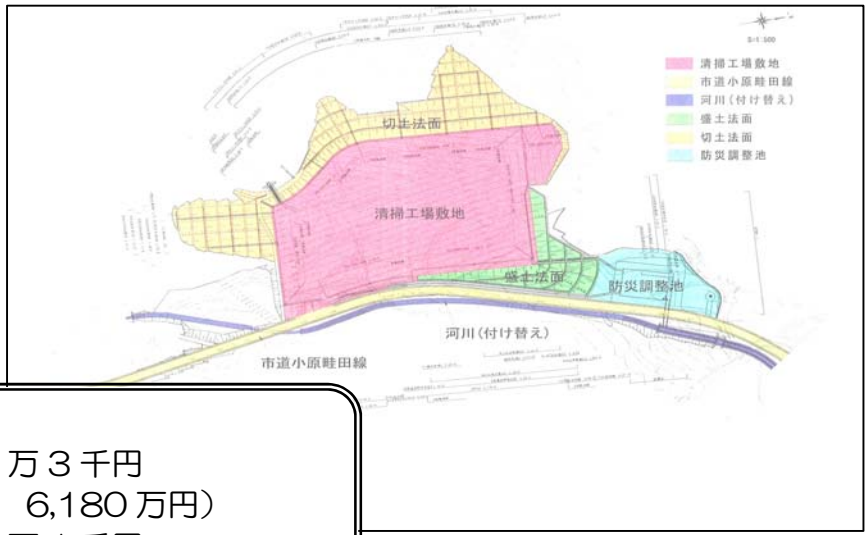
■萩・長門清掃一部事務組合負担金事業（1 億 279 万４千円）

【予算説明書 10 ページ　清掃総務費】
（担当課：環境衛生課）

萩市と長門市で構成する「萩・長門清掃一部事務組合」の新清掃工場（平成 27 年度供用開始予定）建設について、一部事務組合が用地造成工事を早期に完了させるため、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施することから、負担金の増額調整を行います。

建設費に係る負担割合：萩市 47.7%、長門市 39.9%、阿武町 12.4%

事業内容：用地造成工事に係る負担金



整備予定図▲

＜財源内訳＞
〇 市の負担　6,508 万３千円
（うち 市の借入金　6,180 万円）
〇 国の補助　3,771 万１千円
（うち 元気交付金　3,771 万１千円）

■【新規】地域連携販売力強化施設整備事業（9,326 万 6 千円）

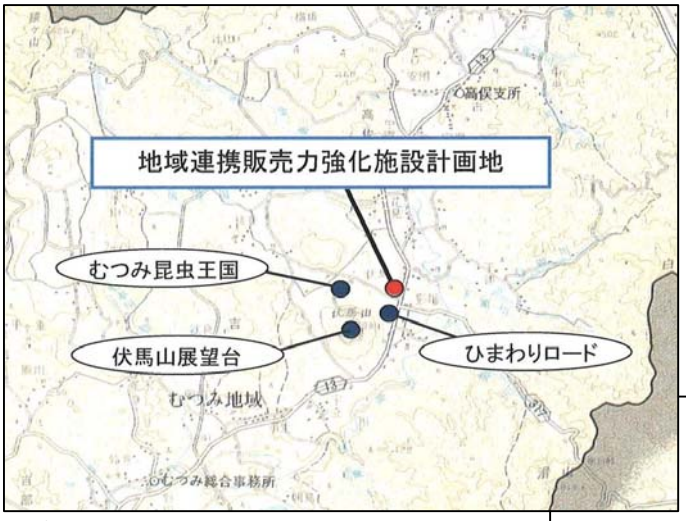
【予算説明書 11 ページ　農業振興施設費】
（担当課：農政課）

「むつみ昆虫王国」や「むつみひまわりロード」といった見所が集中している県道萩津和野線沿いに、女性グループの起業による地域内農産物の販売や加工品の製造ができる施設及び地産地消レストランを併設する「地域連携販売力強化施設」の整備を行います。

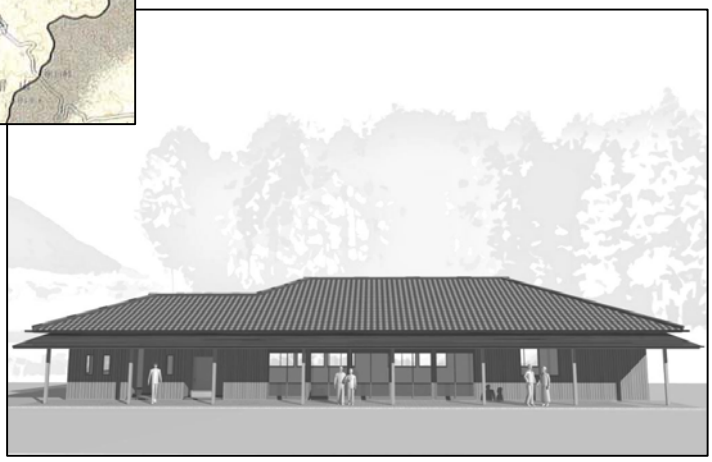
整備場所：むつみ地域高俣地区

事業内容：木造平屋建１棟（床面積 248.6 ㎡）

施設概要：農産物直売所、加工室、レストラン、公衆トイレなど



▲整備位置図


地域連携販売力強化施設（イメージ）▲

＜財源内訳＞
○ 市の負担　3,198万3千円
　（うち 市の借入金　3,140万円）
○ 国の補助　6,128万3千円
　（うち 元気交付金　2,523万4千円）

■中山間地域総合整備事業負担金事業（37 万５千円）

【予算説明書 11 ページ　農地費】
（担当課：農政課）

中山間地域の活性化を推進するため、三見河内地区において、ほ場整備事業を実施し、農作業の効率化及び生産性の向上を図ります。なお、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

事業内容：ほ場整備（換地処分）面積 14.2 ヘクタール

＜財源内訳＞
○ 市の負担　18 万８千円
○ 受益者の負担　18 万７千円

区画整理後の農地の状況▲

■農業体質強化基盤整備促進事業（97 万５千円）

【予算説明書 11 ページ　農地費】
（担当課：農政課）

意欲のある農業者が安心して新しい営農に取り組めるように、地下灌漑排水施設（フォアス）を整備し、作物収穫量の増加と品質向上を図り、農家の所得向上に寄与します。
なお、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

事業内容：整備面積 2.3 ヘクタール

＜財源内訳＞
○ 市の負担　32 万５千円
○ 受益者の負担　65 万円

フォアス整備を行った田の大豆▲

■林道鹿野豊田線開設事業（346 万 3 千円）

【予算説明書 12 ページ　林道費】
（担当課：林政課）

森林施業や林業コストの軽減など林業振興に不可欠な路網整備を図るとともに、中山間地域の生活関連道を確保するため、山口県が川上・旭地域で実施する県営林道「鹿野・豊田線」開設事業を進めていますが、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施するため、事業費の一部を市が負担します。

実施主体：山口県

事業期間：平成 21～32 年度

総事業費：13 億 1,000 万円

全体計画：延長 5,931ｍ　道幅 4m

事業内容：道路開設工事　延長 173m

工事が進む鹿野豊田線▲

▲架け替えられた橋りょう

＜財源内訳＞
○ 市の負担　103 万 9 千円
　（うち 市の借入金　100 万円）
○ 国の補助　242 万 4 千円
　（うち 元気交付金　242 万 4 千円）

■林業専用道平畠線開設事業（960 万円）

【予算説明書 11 ページ　林道費】
（担当課：林政課）

適正な森林整備や林業コストの軽減を図るとともに、森林施業の集約化を促進するため、林道の補完的機能を持つ林業専用道平畠線の整備を進めます。なお、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして、計画路線の測量設計業務と開設工事を行います。

事業期間：平成 24～27 年度

総事業費：7,780 万円

全体計画：延長 1,930m　道幅 3.5m

事業内容：〇測量設計業務　延長 1,170m
〇道路開設工事　延長 60m

▲工事が進む平畠線

＜財源内訳＞
〇 市の負担　336 万円
（うち 市の借入金　330 万円）
〇 県の補助　624 万円

■【新規】林道橋りょう点検診断事業（1,500 万２千円）

【予算説明書 11 ページ　林道費】
（担当課：林政課）

萩市が管理する一定要件の林道橋のうち、竣工後約 30 年経過した橋りょうを対象に、通行の安心・安全を確保するための点検・診断・評価を行います。また、併せて橋りょうの交通安全施設等の老朽・破損箇所の補修・補強を行い、予防保全による林道橋の長寿命化を図ります。

事業内容：〇現地確認による点検・診断・評価　13 路線 51 橋りょう
〇橋りょう管理台帳の作成
〇ガードレール等の補修工事　４路線４か所

▲田床橋（福萩線）

老朽化した橋りょうのガードレール▲

＜財源内訳＞
〇 市の負担　750 万２千円
〇 県の補助　750 万円

■【新規】広域漁場整備事業負担金事業（3,941 万７千円）

【予算説明書 12 ページ　水産業振興費】
（担当課：水産課）

近年、沿岸域の藻場が衰退傾向にあり、水産生物の生育環境の悪化が懸念され採介藻漁業にも影響を与えています。この対策として、藻礁ブロック（人工的に培養した母藻を装着したブロック）等を設置することにより藻場の造成を行い、回復に努めます。

実施主体：山口県

事業期間：平成 24～26 年度

総事業費：８億円
（うち萩市負担額　約 7,330 万円）

＜財源内訳＞
○ 市の負担　1,182 万６千円
（うち 市の借入金　1,180 万円）
○ 国の補助　2,759 万１千円
（うち 元気交付金　2,759 万１千円）

負担割合：萩市約 9.2%、阿武町約 0.8%、県 90%

■大島漁港特定漁港漁場整備事業（5,000 万円）

【予算説明書 12 ページ　漁港建設費】
（担当課：水産課）

大島地区の漁業者の港内作業の安全性向上と生産労働環境の改善や島民の生活環境基盤の充実を図るため、漁港の整備を行っていますが、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして、岸壁、物揚場及び護岸等の整備を行います。

事業期間：平成 16～25 年度

総事業費：34 億 7,400 万円

全体計画：岸壁整備　延長 110m　　定期船発着岸壁整備　延長 100m
物揚場整備　延長 40m　　護岸整備　延長 50m
道路整備　延長 36m　　防波堤整備　延長 430m
用地の埋立　面積 1,550 ㎡

事業内容：岸壁整備　延長 61.1m　　物揚場整備　延長 37.3m
護岸整備（ブロック製作・据付）　延長 50m
用地埋立　面積 300 ㎡　　確定測量　一式

＜財源内訳＞
○ 市の負担　955 万円
（うち 市の借入金　950 万円）
○ 国の補助　3,395 万円
○ 県の補助　650 万円

現在の大島漁港▲

■漁港建設工事負担金事業（5,060 万円）

【予算説明書 12 ページ　漁港建設費】
（担当課：水産課）

山口県が実施する下記事業について、事業費の一部を市が負担します。なお、萩・江崎漁港海岸保全施設整備事業及び萩・江崎漁港水産基盤ストックマネジメント事業については、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施するものです。

○萩・江崎漁港海岸保全施設整備事業（900 万円）
事業費：9,000 万円
事業内容：護岸整備
負担割合：萩市 10%、県 90%

○萩・江崎漁港水産基盤ストックマネジメント事業（2,960 万円）
事業費：1 億 4,800 万円
事業内容：防波堤、護岸、岸壁、物揚場保全工事
負担割合：萩市 20%、県 80%

○萩・江崎漁港施設機能強化事業（1,200 万円）
事業費：6,000 万円
事業内容：防波堤、護岸、岸壁、物揚場耐波・耐震調査
負担割合：萩市 20%、県 80%

＜財源内訳＞
○ 市の負担　2,988 万円
（うち 市の借入金　1,780 万円）
○ 国の補助　2,072 万円
（うち 元気交付金　2,072 万円）

■【新規】萩諸島産業振興事業（188 万 6 千円）

【予算説明書 13 ページ　商工業振興費】
（担当課：商工課）

離島（見島・大島・相島）の特性をいかした産業の振興を図るため、戦略産品を本土へ移出する団体に対し、移出に係る輸送費の一部を支援します。

総事業費：283 万円

実施主体：あぶらんど萩農業協同組合、山口県漁業協同組合

負担割合：萩市 1/3　国 1/3　実施主体 1/3

対象戦略産品：○見島　きゅうり、魚介類
○大島　ブロッコリー、魚介類
○相島　すいか、魚介類

＜財源内訳＞
○ 市の負担　94 万 3 千円
○ 国の補助　94 万 3 千円

■【新規】相島多目的広場整備事業（3,000 万円）

【予算説明書 13 ページ　商工業振興施設費】
（担当課：商工課）

帰農者やＵターン者が増加している相島において、様々な交流活動や交流イベントを支援するため、地域の創意工夫をいかした交流活動を展開する拠点となる多目的広場を整備します。

整備面積：約 1,000 ㎡

事業内容：〇造成工事
〇取付道の整備
〇休憩所（東屋）の整備
〇公衆トイレの整備　など

＜財源内訳＞
〇 市の負担　1,500 万円
（うち 市の借入金　1,500 万円）
〇 国の補助　1,500 万円

■除雪車両整備事業（1,978 万５千円）

【予算説明書 13 ページ　道路維持費】
（担当課：土木課）

市道の除雪は、業務委託などにより実施していますが、近年の社会情勢から業者が車両を確保することが困難な地域については、市が所有する車両を貸し出して除雪を実施しています。老朽化した市が所有する車両を更新し、除雪体制の充実を図ります。なお、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

事業内容：除雪車両２台購入
むつみ地域　４ｔトラック１台
須佐地域　1.5ｔトラック１台

＜財源内訳＞
〇 市の負担　802 万５千円
〇 国の補助　1,176 万円

▲現在の４ｔトラック

1.5ｔトラック（イメージ）▲

■【新規】道路ストック総点検事業（1,600 万円）

【予算説明書 13 ページ　道路維持費】
（担当課：土木課）

近年、道路など社会資本の老朽化が危惧される中、利用者の安全を確保するため、トンネル内や道路の標識・照明など付属物の点検を実施します。また、老朽化が著しく修繕が必要と思われるアスファルト舗装の調査を実施します。

事業内容：〇道路付属物等点検業務　140 基
〇トンネル内点検業務　9 か所
〇舗装補修状況調査業務　延長 69,580m（２車線道路）

＜財源内訳＞
〇 市の負担　640 万円
〇 国の補助　960 万円

■急傾斜地崩壊対策事業負担金事業（825 万円）

【予算説明書 14 ページ　河川改良費】
（担当課：土木課）

山口県が実施する急傾斜地の崩壊対策事業について、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施するため、事業費の一部を市が負担します。

事業内容：急傾斜地崩壊対策事業
三見（手水川）他４地区

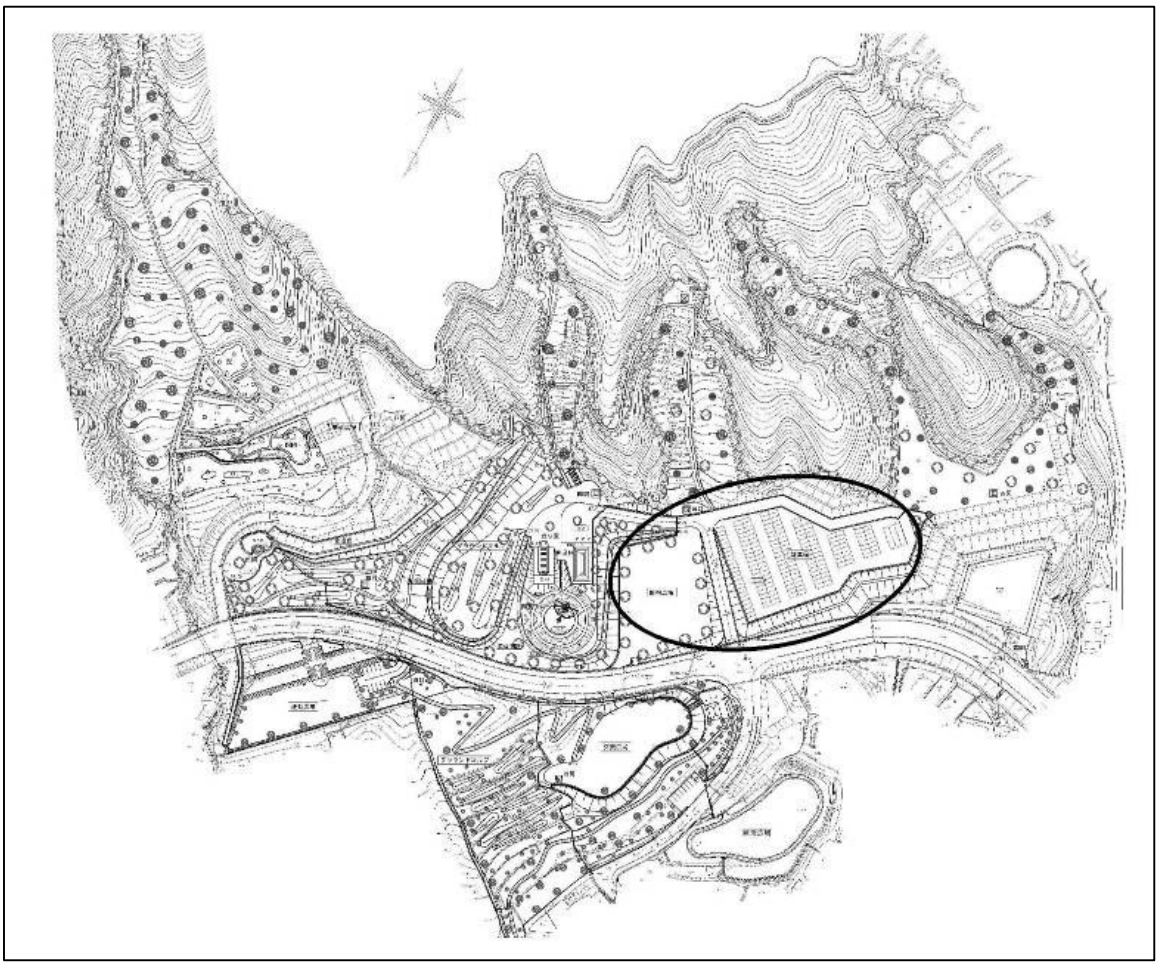
＜財源内訳＞
〇 市の負担　825 万円

■陶芸の村公園整備事業（1 億円）

【予算説明書 14 ページ　公園費】
（担当課：都市計画課）

現在、整備中の陶芸の村公園は、萩市地域防災計画において一次避難地として位置づけられており、地震や津波などの大規模災害時には、約 1,650 人の収容が可能となっています。さらに約 4,000 人の収容が可能となるよう、園路、駐車場、広場等の整備を行い、最終的に約 10,000 人が収容できる広域避難地を目指します。なお、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

事業内容：〇実施設計業務
〇敷地造成工事　面積１ヘクタール
〇舗装工事　面積 0.9 ヘクタール
〇園路工事　延長 70m
〇雨水排水工事　延長 490m



整備位置図▲

＜財源内訳＞
〇 市の負担　5,000 万円
（うち 市の借入金　5,000 万円）
〇 国の補助　5,000 万円

■市営住宅改修事業（1 億 626 万円）

【予算説明書 15 ページ　住宅管理費】
（担当課：建築課）

昭和 41 年から昭和 43 年にかけて建設した山田東沖田団地及び昭和 46 年から昭和 51 年にかけて建設した玉江改良住宅の老朽化対策として、居住者の安全性確保と建物の延命化を図るため、外壁の落下防止のための改修を行います。なお、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

事業内容：外壁改修工事

対象住宅：○山田東沖田団地　6 棟 23 戸（コンクリートブロック造平屋建）
事業費　2,047 万 5 千円

○玉江改良住宅　35 棟 70 戸（コンクリートブロック造 2 階建）
事業費　8,578 万 5 千円

現在の玉江改良住宅▲

▲現在の山田東沖田団地

＜財源内訳＞
○ 市の負担　5,313 万円
○ 国の補助　5,313 万円

■【新規】防火水槽整備事業（3,400 万円）

【予算説明書 15 ページ　消防施設費】
（担当課：消防本部総務課）

河川等自然水利に乏しく、消防水利が不足している相島において、落雷等による林野火災発生など有事の際に円滑な消防活動を行い、島民の安心・安全を守るため、防火水槽を２基整備します。

事業内容：林野火災対応地下式 60ｔ級防火水槽の整備　２基

＜財源内訳＞
○ 市の負担　2,051 万３千円
　（うち 市の借入金　2,050 万円）
○ 国の補助　1,348 万７千円
　（うち 元気交付金　555 万３千円）

■小学校施設耐震補強事業（1,756 万円）

【予算説明書 16 ページ　小学校建設費】
（担当課：教育委員会総務課）

学校施設は、子どもたちの活動の場であるとともに、災害発生時の避難所として、地域住民の防災拠点の役割を担うなど、その安全性の確保は極めて重要な施設です。そのため、耐震性が確保されていない学校施設の耐震化については、平成 27 年度完了を目途に計画的に行っており、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

事業内容：耐震補強計画の作成及び実施設計業務
　　椿東小学校校舎、白水小学校校舎、むつみ小学校校舎

＜財源内訳＞
○ 市の負担　351 万３千円
　（うち 市の借入金　250 万円）
○ 国の補助　1,404 万７千円
　（うち 元気交付金　819 万４千円）

現在の椿東小学校校舎▲

■明倫小学校整備事業（11 億 8,280 万５千円）

【予算説明書 16 ページ　小学校建設費】
（担当課：教育委員会総務課）

明倫小学校は、藩校「明倫館」跡地に開校された歴史と伝統を持つ小学校です。現在の校舎は昭和 10 年に建築され老朽化しているため、隣接する旧萩商業高等学校跡地への移転整備を進めているところですが、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

なお、新築する校舎は市有林の木材を活用した和風校舎として整備するとともに、旧萩商業高等学校施設を改修し、よりよい教育環境の整備を図ります。

事業期間：平成 23～25 年度

事業内容：〇新校舎の建設（平成 24～25 年度）
〇旧萩商業高等学校の校舎改修
〇給食室の建設及び太陽光発電設備の設置

＜財源内訳＞
〇 市の負担　６億 9,039 万５千円
（うち 市の借入金　６億 5,580 万円）
〇 国の補助　４億 9,241 万円
（うち 元気交付金　２億 696 万４千円）

旧萩商業高等学校校舎▲

■見島小中学校校舎整備事業（4,092 万円）

【予算説明書 16 ページ　小学校建設費】
（担当課：教育委員会総務課）

老朽化し、かつ、耐震性が確保されていない見島小学校校舎及び見島中学校校舎を小中学校が併設する校舎へ改築を進めているところですが、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

事業期間：平成 24～26 年度

事業内容：給食室の建設

＜財源内訳＞
○ 市の負担　2,579 万 1 千円
　（うち 市の借入金　2,440 万円）
○ 国の補助　1,512 万 9 千円
　（うち 元気交付金　550 万 9 千円）

▲現在の見島小学校校舎

■学校給食設備整備事業（5,630 万円）

【予算説明書 16 ページ　小学校建設費】
（担当課：学校教育課）

明倫小学校及び見島小学校の給食調理場の耐震化に伴う改築事業に併せて給食備品を整備します。また、ドライシステムの運用により衛生面の向上を図り、安心・安全な給食を提供します。なお、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施します。

調理食数：明倫小学校　約 740 食/日
　　見島小学校　約 40 食/日

＜財源内訳＞
○ 市の負担　5,013 万 6 千円
　（うち 市の借入金　4,760 万円）
○ 国の補助　616 万 4 千円

■　公共下水道事業特別会計

１．補正予算の概要

今回の補正は、一般会計と同様に国の緊急経済対策に対応するため、平成 25 年度以降に予定していた事業を一部前倒しして実施することから、予算計上するものです。

２．補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
15 億 2,813 万 6 千円	1 億 2,370 万円	16 億 5,183 万 6 千円

※今回の補正は、全１事業

３．歳出予算の事業内容

■公共下水道事業（1 億 2,370 万円）

【予算説明書 25 ページ　施設建設費】
（担当課：下水道建設課）

生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、汚水管きょを整備します。

事業期間：昭和 52 年度～

事業内容：〇山田地区　水道管移設実施設計業務
　　汚水管きょ布設工事　延長 610m
　　〇椿東地区　汚水管きょ布設工事　延長 230m

＜財源内訳＞
〇 市の負担　6,970 万円
　（うち 市の借入金　2,620 万円）
　（うち 一般会計からの繰入金　4,350 万円）
　　※繰入金の財源に元気交付金（3,780 万円）を充当
〇 国の補助　5,400 万円

■　農業集落排水事業特別会計

１．補正予算の概要

今回の補正は、一般会計と同様に国の緊急経済対策に対応するため、平成 25 年度以降に予定していた事業を一部前倒しして実施することから、予算計上するものです。

２．補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
５億 1,168 万１千円	840 万円	５億 2,008 万１千円

※今回の補正は、全１事業

３．歳出予算の事業内容

■下田万地区農業集落排水事業（840 万円）

【予算説明書 33 ページ　施設建設費】
（担当課：下水道建設課）

平成元年～６年度にかけて整備した田万川地域下田万地区農業集落排水施設について、機能診断を行った際、著しく老朽化しているとの結果であったため、処理施設の改修を行います。

事業期間：平成 24～28 年度

総事業費：１億 7,500 万円

事業内容：実施設計業務

下田万地区処理場▲

＜財源内訳＞
○ 市の負担　420 万円
　（うち 市の借入金　120 万円）
　（うち 一般会計からの繰入金　300 万円）
　　※繰入金の財源に元気交付金（294 万円）を充当
○ 県の補助　420 万円

■　漁業集落排水事業特別会計

１．補正予算の概要

今回の補正は、一般会計と同様に国の緊急経済対策に対応するため、平成 25 年度以降に予定していた事業を前倒しして実施することから、予算計上するものです。

２．補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
８億 4,250 万４千円	１億 7,416 万９千円	10 億 1,667 万３千円

※今回の補正は、全１事業

３．歳出予算の事業内容

■大井浦地区漁業集落排水事業（1 億 7,416 万９千円）

【予算説明書 41 ページ　施設建設費】
（担当課：下水道建設課）

漁村の生活環境の改善と自然環境の保全を図り、より生産性の高い漁業と活力ある漁村の形成に資するため大井浦地区の汚水管きょ等の整備を行います。

事業期間：平成 18～27 年度

総事業費：21 億 2,000 万円

事業内容：〇実施設計業務
〇排水管布設工事　延長 1,340m
〇処理場建設工事

＜財源内訳＞
〇 市の負担　１億 1,006 万４千円
（うち 市の借入金　6,620 万円）
（うち 一般会計からの繰入金　4,386 万４千円）
※繰入金の財源に元気交付金（3,961 万６千円）を充当
〇 国の補助　3,985 万円
〇 県の補助　2,425 万５千円